

# ＝ 飢えたるアシロを救へ ＝

五年前の十一月七日！この日

露西亞の民衆は、暗黒の底から初めて光明の世界に躍り出た。彼等は三百年間の虐政の倒れた廢墟に農民と労働者の國家を打建てた。然し彼等の前途は、決して平坦ではなかつた。國內の反動主義者は、建設の事業に有ゆる妨害を試みた。資本主義の列國は經濟的に封鎖した。そして外國の資本と彈藥とに授けられた反革命軍は四方八方から攻め寄せて、露西亞の版圖の四分三は彼等の占領に歸した。三年の間、露西亞の民衆は惡戰苦闘した。そしてすべて是等の困難に打勝つた。一九二〇年の十一月には、最後の反革命軍（ウラシゲル軍）を掃蕩し、二一年の三月には、英國との間に通商條件が成立した。露西亞の民衆は、初めて平和の裡に、經濟上の建設に全力を傾注することの出来る時が來た。彼等の前途は、初めて光明に輝いた。

この時、飢饉が襲來した。來る月も來る月も、一滴の雨も降らなかつた。そして炎暑と熱風とは、小麦と裸麥と、畑の上のすべての物、雜草までも、一葉をも残さず焼き盡した。

早魃の爲に收穫を失つた地域は露國の全耕地の三分の一に及び、二千五百万の農民は飢饉に曝され、或者は雜草のパンで命を繋ぎ、或る者は粘土の餅で飢えを凌ぎ、また或る者は、荷も空腹の苦痛をまさらすものは馬糞をすらも口にしたりした。そして二千五百万人のうちの一千万人は子供であつて、或る地方では、母親は子供の餓死するのを見て居るに忍びないで、手づから我が子をヴォルガの河中に投じて居るものすらもある。之が人類の歴史のうち、空前

## 露國飢饉救済金募集

一、本報は左の方法により、露國飢饉救済金を募集します。寄つて御援助を願ひます。

一、金額には制限はありませぬ。勿論多に越したことはないが、十錢二十錢の少額でも構ひませぬ。

一、送金は成るべく振替（又は郵便爲替）にて本社に御送込みを願ひます。少額の場合は、御切手（五厘切手に限る）でも至宜へりませぬ。

一、御寄附に對しては、受領書を提出すか、又は前掲の誌上で報告をします。姓名の公表を願はれる場合は、匿名、又は其由を御書きを願ひます。

一、寄附は個人でも團體としてでも構ひませぬ。



の悲劇でなくて何だらう。五年の間、歴史的任務の爲に勇敢に闘つた露西亞の民衆は、今や自然の殘忍に對してその最後の闘ひを闘つて居る。二千五百万の飢えつゝある民衆は、今ま全世界からの救援を待つて居る。この救援が一日おくれることは、更に幾万の農民と婦人と子供を滅亡を意味して居る。そして解放の爲に闘つてゐる露西亞の民衆を餓死せしめることは、全世界の無産階級の最大の恥辱ではあるまいか。

今や世界の如何なる國でも、苟も文明人の住まつてゐる國である限りは、露西亞飢饉救済の運動の

構ひませぬ。

一、集まつた金額は便宜の爲め、大規模に露國救済資金や物資の募集をしてゐる外國の確實な機關（例へば米國の「勞農露西亞友人會」等の如き）に寄附すること。

一、七月三十一日を以て第一回の募集を切り、多くても少くとも集まつただけ送金します。

東京大森新井町 前衛社  
振替東京五七七  
右責任者 渡辺 勝三 西川 雅雄  
田所 啓明 山崎 均  
上田 茂樹  
台計監督者 藤澤 士 堀 利彦  
精誠士 堀 利彦

行はれて居らぬ國はない。英國からも、米國からも、濠洲からも露西亞の民衆を餓死から救ふ爲の食料と物資とは、特別仕立の汽船で露國に送られて居る。戦争の爲に半ば飢饉の状態に陥つてゐる中國諸國の民衆すらも、自己の食物の半ばを割いて露國の同胞に送つて居る。吾々は餓死に曝されてゐる二千五百万の農民と婦人と兒童との爲に、一片れのパンすらも節約したであらうか。

露國の飢饉救済の運動は、今や世界的の事業となつて居る。吾々はこの意義ある事業に参加しなければならぬ。